

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.197

2024年12月期 調査



<調査要項>

- ・調査時点 2024年 12月上旬
- ・調査対象期間 2024年 10 - 12月実績
2025年 1 - 3月見通し
- ・調査対象企業 当金庫取引先 450社
有効回答数 444社 (有効回答率98.6%)
- ・業種別企業数 製造業 135社、卸売業 68社
小売業 91社、運輸・サービス業 57社
建設業 67社、不動産業 26社
- ・調査方法 営業店調査員による面接聞き取り調査

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index. 拡散指数)による分析方法を採用しています。
各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい



10－12月の概況

●当金庫取引先の景況感は前期より小幅改善

当金庫取引先の2024年 10－12 月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の16.4%で前期（2024年 7－9 月期15.8%）から+0.6ポイント、「悪い」は20.3%で前期（同20.3%）から横這い。全業種総合の業況判断 DI は、前期▲5 から+1ポイントの▲4となった。

業種別で見ると、製造業の業況判断 DI は、前期▲1 から▲3ポイントの▲4、非製造業の業況判断 DI は、前期▲6 から+2ポイントの▲4となった。

●来期は小幅悪化の見通し

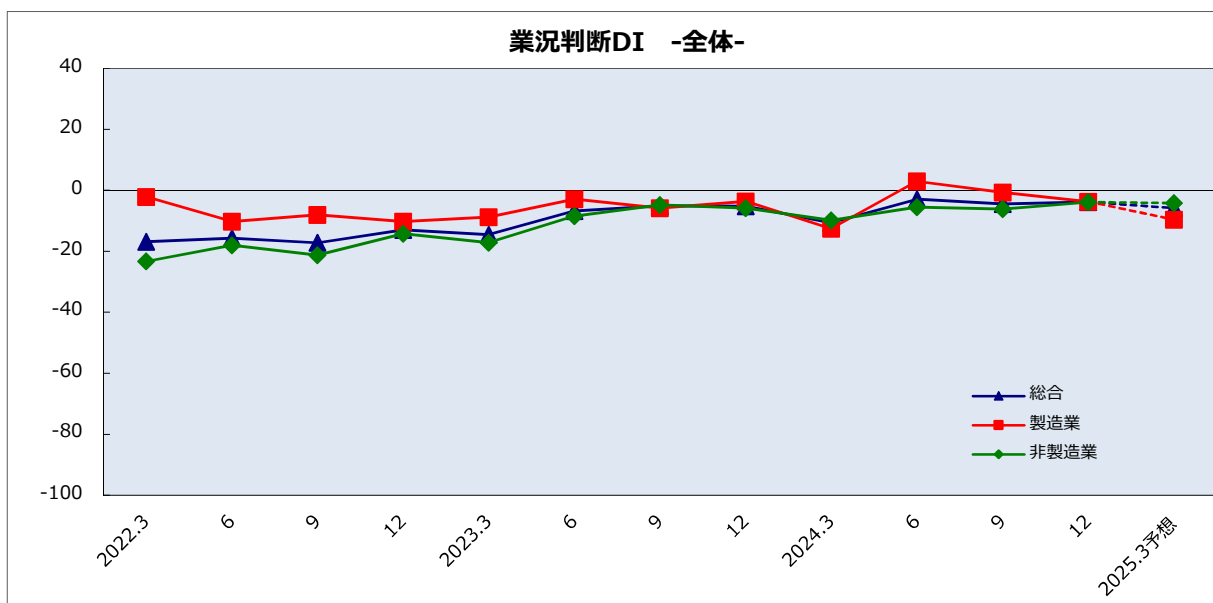
来期（2025年 1－3 月期）の全業種総合の予想業況判断 DI は、今期▲4 から▲2ポイントの▲6となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断 DI は今期▲4 から▲6ポイントの▲10、非製造業は今期▲4 から横這いとなる見通しである。

■最近の業況判断DIの推移

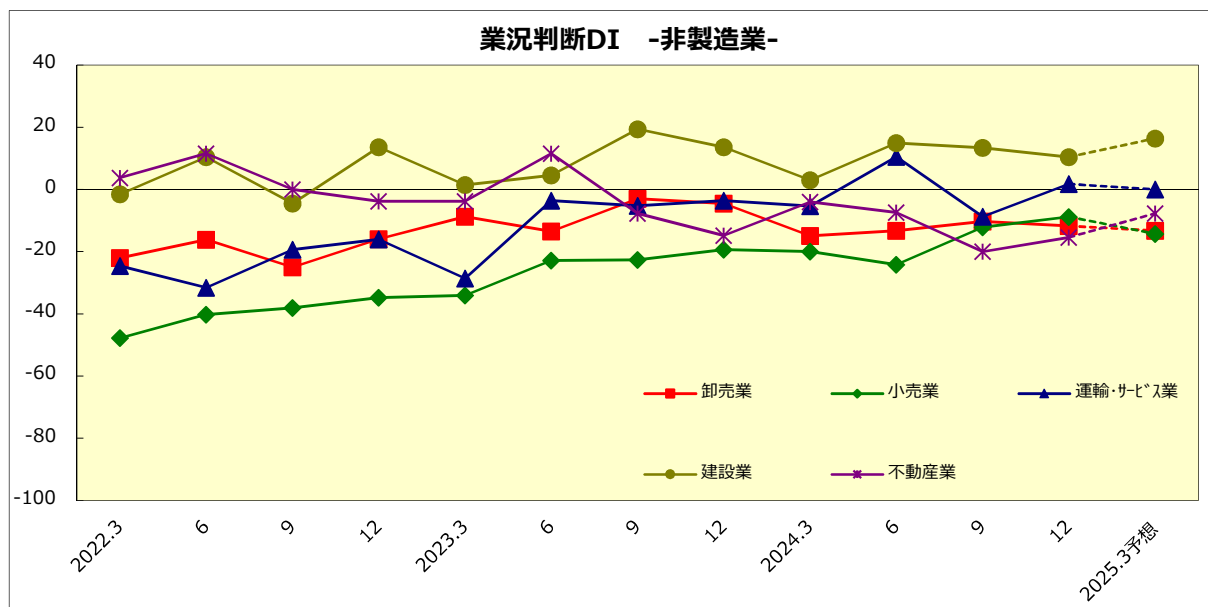
・業況判断 DI（総合）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
総合 (444社)		-5 (→)	-11 (↓)	-3 (↗)	-5 (↓)	-4 (↗)	-6 (↓)
製造業 (135社)		-4 (↗)	-13 (↓)	3 (↗)	-1 (↓)	-4 (↓)	-10 (↓)
非製造業 (309社)		-6 (↓)	-10 (↓)	-5 (↗)	-6 (↓)	-4 (↗)	-4 (→)

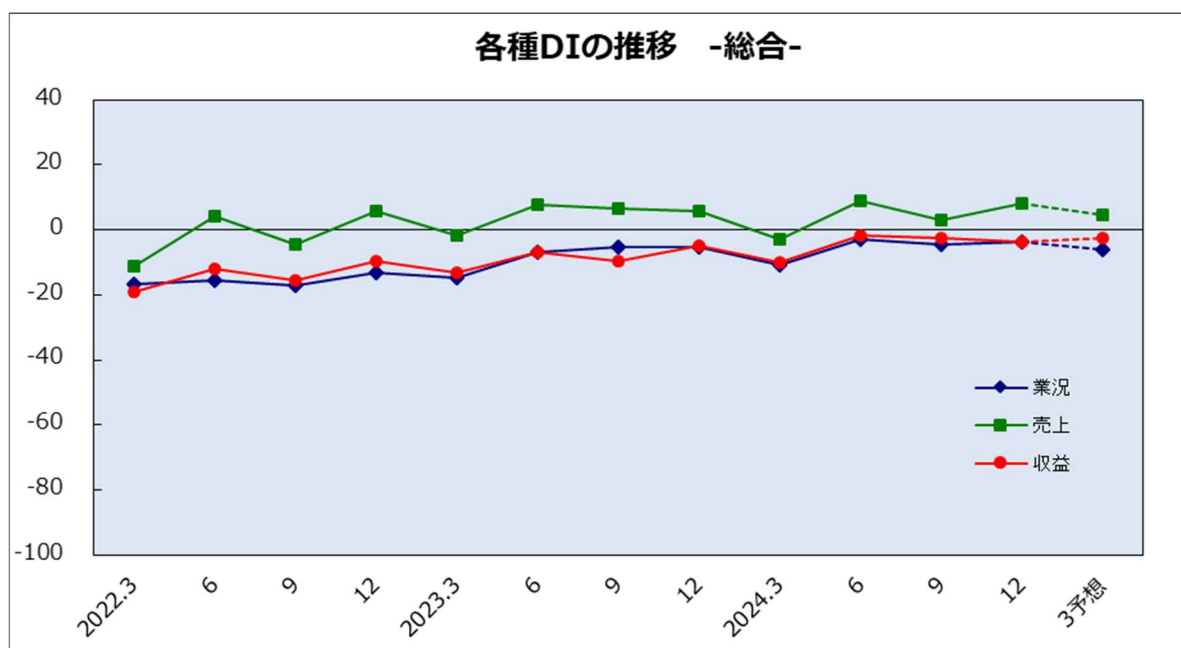


・業況判断 DI（非製造業）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
卸売業（68社）		-4（ㇿ）	-15（ㇿ）	-13（ㇿ）	-10（ㇿ）	-12（ㇿ）	-13（ㇿ）
小売業（91社）		-19（ㇿ）	-20（ㇿ）	-24（ㇿ）	-12（ㇿ）	-9（ㇿ）	-14（ㇿ）
運輸・サービス業（57社）		-4（ㇿ）	-5（ㇿ）	11（ㇿ）	-9（ㇿ）	2（ㇿ）	0（ㇿ）
建設業（67社）		14（ㇿ）	3（ㇿ）	15（ㇿ）	13（ㇿ）	10（ㇿ）	16（ㇿ）
不動産業（26社）		-15（ㇿ）	-4（ㇿ）	-7（ㇿ）	-20（ㇿ）	-15（ㇿ）	-8（ㇿ）



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から悪化

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の 18.5%で前期 (22.8%) から▲4.3 ポイント、「悪い」は22.2%で前期 (23.5%) から▲1.3 ポイント。業況判断 DI は前期▲1 から▲3 ポイントの▲4 となり、前期から悪化した。

来期は、輸送用機械器具など 6 業種で改善、皮革製品など 5 業種で横這い、金属製品など 10 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期▲4 から▲6 ポイントの▲10 と悪化する見通しである。

●今期は 21 業種中、6 業種で改善、10 業種で悪化

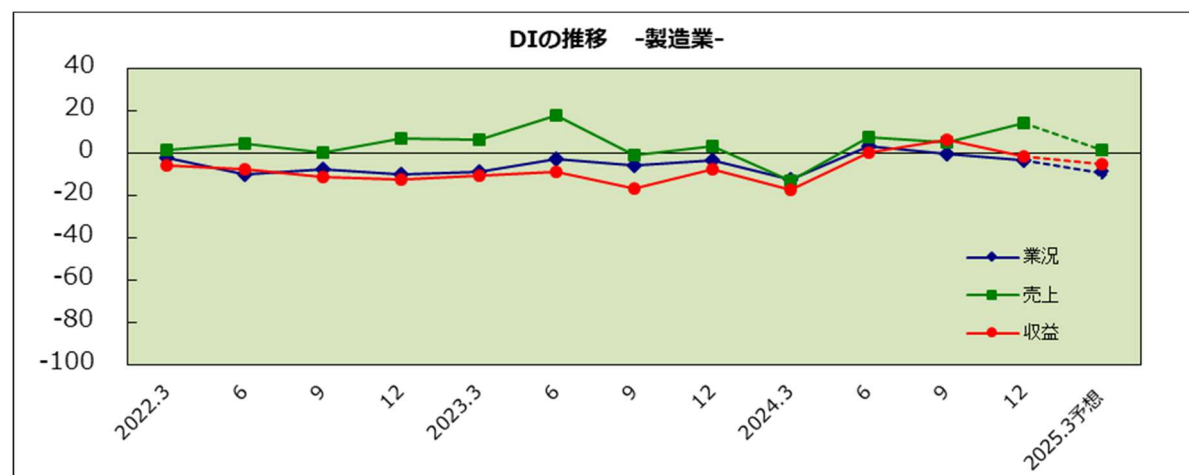
金属製品など 6 業種で改善、一般機械器具など 10 業種で悪化

21 業種中…業況改善 6 業種 / 業況横這 5 業種 / 業況悪化 10 業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
金属製品 (19社)		-41 (↓)	-42 (↓)	-26 (↑)	-30 (↓)	-16 (↑)	-21 (↓)
一般機械器具 (15社)		-6 (↓)	-12 (↓)	12 (↑)	6 (↓)	-7 (↓)	-20 (↓)
食料品 (14社)		-7 (↑)	-7 (→)	23 (↑)	7 (↓)	29 (↑)	-7 (↓)
輸送用機械器具 (11社)		18 (↑)	-9 (↓)	-27 (↓)	18 (↑)	0 (↓)	18 (↑)
電気機械器具 (8社)		-25 (→)	-13 (↑)	0 (↑)	0 (→)	25 (↑)	-13 (↓)
皮革製品 (8社)		50 (→)	-13 (↓)	50 (↑)	38 (↓)	13 (↓)	13 (→)
建築用金属製品 (8社)		13 (↑)	0 (↓)	-14 (↓)	-17 (↓)	13 (↑)	25 (↑)
プレス・メッキ (6社)		-14 (→)	-14 (→)	14 (↑)	14 (→)	0 (↓)	-33 (↓)
出版・印刷 (6社)		20 (↑)	20 (→)	-17 (↓)	-20 (↓)	17 (↑)	0 (↓)
窯業・土石 (5社)		40 (→)	40 (→)	60 (↑)	40 (↓)	20 (↓)	0 (↓)
繊維製品 (靴下) (5社)		-20 (→)	-20 (→)	20 (↑)	0 (↓)	20 (↑)	20 (→)

調査員のコメント

- ・受注は回復基調であるも、材料高、経費高騰が利益率を圧迫している。 (金属製品製造)
- ・LED 導入済み照明導入しており、できる範囲で脱炭素に向け取組している。 (一般機械器具)
- ・受注は例年並みに戻りつつあり、人員不足については外国人の活用で対応されている。 (建築用金属製品)



●前期から小幅悪化

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の11.8%で前期(7.4%)から+4.4ポイント、「悪い」は23.5%で前期(17.6%)から+5.9ポイント。業況判断DIは前期▲10から▲2ポイントの▲12となり、小幅に悪化した。

来期は農畜産物・水産物などの2業種で改善、飲食料品など4業種で横這い、機械器具など3業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲12から▲1ポイントの▲13と小幅悪化する見通しである。

●今期は9業種中、4業種で改善、3業種で悪化

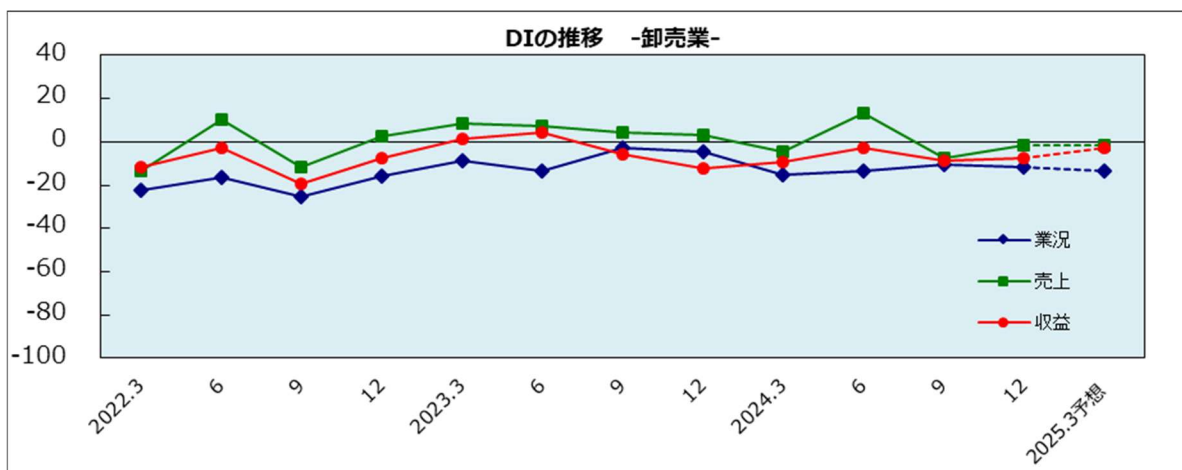
農畜産物・水産物など4業種で改善、機械器具など3業種で悪化した。

9業種中・・・業況改善4業種 / 業況横這2業種 / 業況悪化3業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
機械器具 (19社)		16 (→)	-11 (→)	0 (↗)	6 (↗)	-5 (↘)	-11 (↘)
農畜産物・水産物 (11社)		-27 (↗)	-40 (→)	-30 (↗)	-36 (↘)	-18 (↗)	-9 (↗)
建築材料 (9社)		11 (→)	-22 (→)	-20 (↗)	-10 (↗)	0 (↗)	-11 (↘)
飲食料品 (8社)		-29 (↘)	-13 (→)	-33 (↘)	-25 (↗)	0 (↗)	0 (→)
金属材料 (5社)		0 (→)	-17 (→)	0 (↗)	17 (↗)	0 (↘)	0 (→)
衣服身回品 (3社)		-33 (↗)	0 (→)	-33 (↘)	-67 (↘)	-67 (→)	-33 (↗)
化学製品 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	50 (↗)	50 (→)
再生資源 (2社)		0 (→)	50 (→)	50 (→)	50 (→)	50 (→)	0 (↘)
家具建具じゅう器 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-100 (↘)	-100 (→)
その他 (6社)		-14 (↘)	-17 (↘)	-14 (→)	-14 (→)	-17 (↘)	0 (↗)

調査員のコメント

- ・例年に比べ気温の上下が激しい為、エアコン等の注文状況は順調に推移している。
(機械器具)
- ・今年は雹被害による特需もあり、増収増益での着地予想だが、今後は例年並みの見通しである。
(建築材料)
- ・業況順調に推移しているものの、人材確保に苦心している。
(機械器具)



● 2 期連続の改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 11.0%で前期 (9.9%) から+1.1 ポイント、「悪い」は 19.8%で前期 (22.0%) から▲2.2 ポイント。業況判断 DI は前期▲12 から+3 ポイントの▲9となり改善した。

来期は飲食料品などの 9 業種で横這い、飲食店など 3 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲9 から▲5 の▲14と悪化となる見通しである。

● 今期は 12 業種中、3 業種で改善、2 業種で悪化

飲食料品など 3 業種で改善、スーパー・コンビニなど 2 業種で悪化した。

12 業種中・・・業況改善 3 業種 / 業況横這 7 業種 / 業況悪化 2 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
飲食料品 (24社)		-29 (↗)	-21 (→)	-14 (↗)	-17 (↘)	4 (↗)	4 (→)
衣服身回品 (15社)		-38 (↗)	-40 (→)	-53 (↘)	-33 (↗)	-33 (→)	-33 (→)
飲食店 (11社)		0 (↗)	9 (→)	-9 (↘)	18 (↗)	18 (→)	0 (↘)
自動車 (9社)		-11 (↘)	-11 (→)	11 (↗)	11 (→)	22 (↗)	22 (→)
スーパー・コンビニ (8社)		11 (↗)	-22 (→)	-33 (↘)	0 (↗)	-38 (↘)	-50 (↘)
ガソリン (6社)		-17 (↗)	-17 (→)	-67 (↘)	-33 (↗)	-50 (↘)	-50 (→)
家電機器 (4社)		0 (↘)	50 (→)	33 (↘)	33 (→)	50 (↗)	25 (↘)
書籍・文具 (3社)		-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
医薬品・化粧品 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↘)	-50 (→)	-50 (→)
時計・眼鏡 (2社)		-100 (↘)	-100 (→)	-50 (↗)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
木材建築材料 (1社)		0 (→)	-100 (→)	-100 (→)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)
その他 (5社)		0 (↘)	-20 (↘)	-25 (→)	-50 (↘)	-20 (↗)	-20 (→)

調査員のコメント

・物価高騰により仕入価格高騰している。買い控えにより、収益圧迫している。

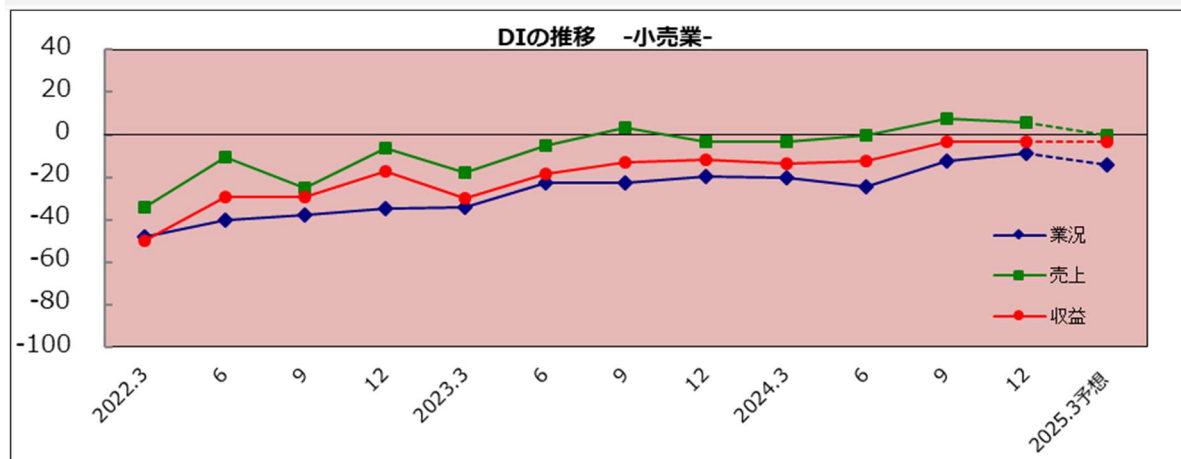
(衣服身回品)

・観光客中心に好調に売り上げ伸ばしている。

(飲食料品)

・新車販売は若干の落ち込みを見せているが、レンタカー部門の売上が好調で定期的に増車している。。

(自動車小売業)



運輸・サービス業 57 社

●前期から改善

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 14.0%で前期(14.0%)から横這い、「悪い」は 12.3%で前期(22.8%)から▲10.5ポイント。業況判断 DI は前期▲9 から+11 ポイントの+2 となり、前期から改善した。

来期は、自動車整備・駐車場などの 5 業種で横這い、運輸業など 2 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期+2 から▲2 ポイントの 0 と小幅悪化する見通しである。

●今期は 7 業種中、4 業種で改善、1 業種で悪化

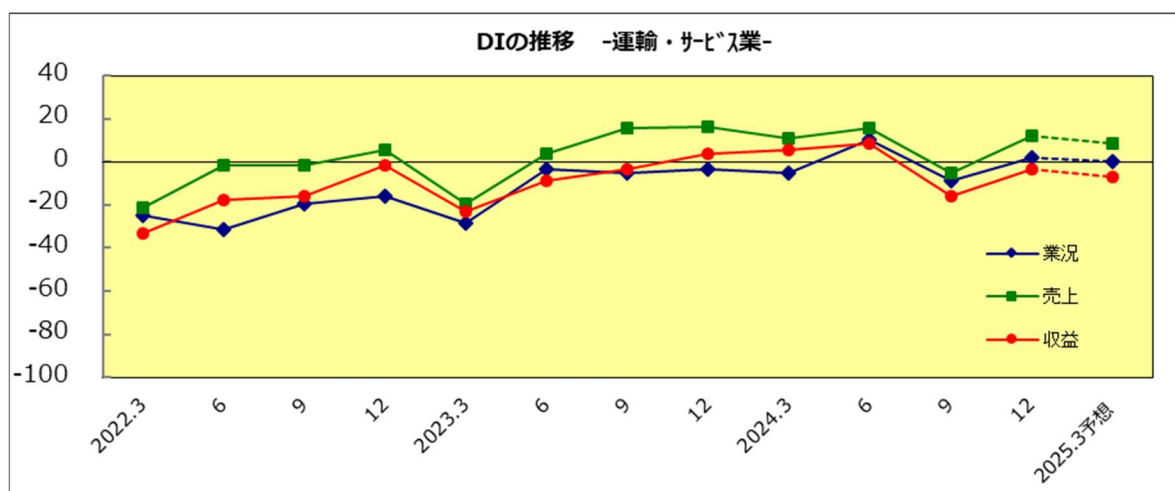
運輸業、クリーニング・理容・美容など 4 業種で改善、自動車整備・駐車場で悪化した。

7 業種中・・・業況改善 4 業種 / 業況横這 2 業種 / 業況悪化 1 業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
運輸業 (14社)		29 (↗)	14 (→)	31 (↗)	-21 (↘)	0 (↗)	-7 (↘)
自動車整備・駐車場 (10社)		-11 (↘)	-10 (→)	0 (↗)	10 (↗)	0 (↘)	0 (→)
クリーニング・理容・美容 (7社)		-29 (↘)	-14 (→)	29 (↗)	-14 (↘)	0 (↗)	-14 (↘)
情報サービス・調査・広告 (4社)		-25 (↗)	-25 (→)	0 (↗)	20 (↗)	50 (↗)	50 (→)
修理業 (3社)		-33 (→)	0 (→)	-33 (↘)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
物品賃貸 (2社)		0 (→)	-50 (→)	0 (↗)	-100 (↘)	0 (↗)	0 (→)
旅館宿泊所 (2社)		0 (→)	-50 (→)	-50 (→)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)
その他 (14社)		-13 (↘)	-6 (↗)	0 (→)	13 (↗)	0 (↘)	0 (→)

調査員のコメント

- ・トラック新車は 2～3 年待ちで、中古は値上がりが激しい。(運輸業)
- ・「GO タクシー」のおかげもあり、売上順調に増加中だが、人手不足の問題が抱えている。(運輸業)
- ・仕入価格高騰するも雹被害の影響により修理増加し売上についても増加。(自動車整備)



●前期から悪化

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の 29.9%で前期(25.4%)から+4.5 ポイント、「悪い」は 19.4%で前期(11.9%)から+7.5 ポイント。業況判断 DI は前期+13 から▲3 ポイントの +10 となり、前期から悪化した。

来期は、全ての工事で改善と予想しており、予想業況判断 DI は、今期+10 から+6 ポイントの +16 と改善する見通しである。

●今期は 3 業種中、1 業種で改善、2 業種で悪化

職別工事で改善、総合工事、設備工事で悪化した。

3 業種中・・・業況改善 1 業種 / 業況横這 0 業種 / 業況悪化 2 業種

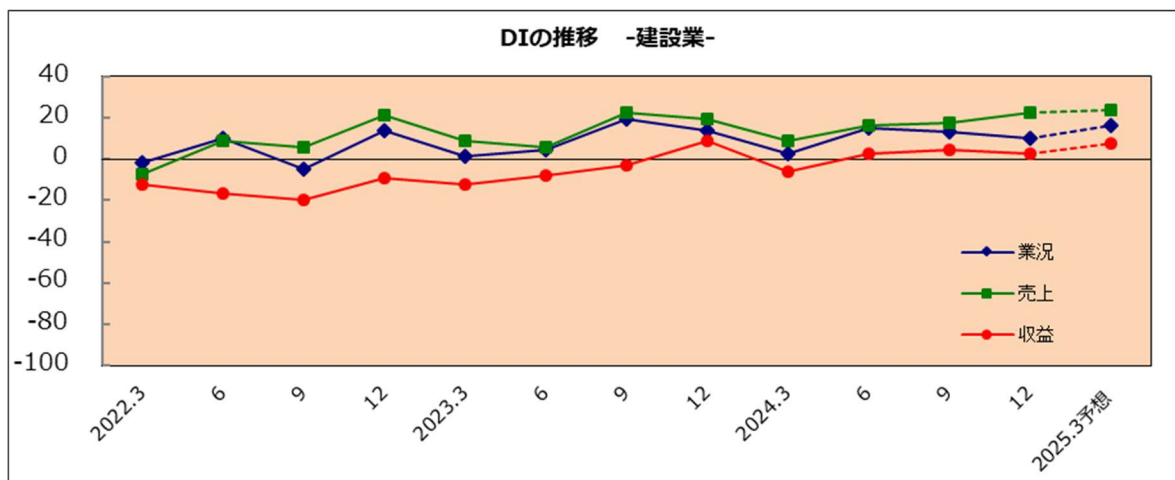
業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
総合工事	(33社)	9 (↓)	0 (→)	12 (↑)	16 (↑)	6 (↓)	9 (↑)
職別工事	(21社)	16 (↓)	5 (→)	21 (↑)	10 (↓)	19 (↑)	24 (↑)
設備工事	(13社)	20 (↑)	7 (→)	14 (↑)	13 (↓)	8 (↓)	23 (↑)

調査員のコメント

・仕入れ価格、人件費の高騰による利益幅減少が悩みであり、今後は工事価格の見直し実施による利益幅確保が課題である。(総合工事)

・今期も酷暑が続き、現場の作業効率は低下傾向。材料費高騰、人件費増加傾向の中、営業強化を心掛けている。(職別工事)

・大阪万博のパビリオン建設にかかる受注も確保しており、安定推移を見込んでいる。(設備工事)



不動産業 26社

●前期から改善

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の7.7%で前期(0.0%)から+7.7ポイント、「悪い」は23.1%で前期(20.0%)から+3.1ポイント。業況判断DIは前期▲20から+5ポイントの▲15となり、前期から改善した。

来期は、不動産代理・仲介など2業種で改善、建売・土地売買など2業種で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期▲15から+7の▲8と改善する見通しである。

●今期は4業種中、2業種で改善、1業種で横這い、1業種で悪化

建売・土地売買、貸家・貸間の2業種で改善、貸事務所・土地賃貸の1業種で横這い、不動産代理・仲介の1業者で悪化した。

4業種中…業況改善2業種 / 業況横這1業種 / 業況悪化1業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期	2025/1-3期
建売・土地売買 (11社)		-17 (↓)	-7 (→)	9 (↑)	-9 (↓)	-8 (↑)	-8 (→)
不動産代理・仲介 (10社)		-20 (↓)	-17 (→)	-30 (↓)	-29 (↑)	-38 (↓)	-25 (↑)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (2社)		0 (→)	100 (→)	50 (↓)	-33 (↓)	0 (↑)	100 (↑)
その他 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	-50 (→)	-50 (→)

調査員のコメント

・インターネットを介した情報発信(SNS等含)が、消費者に与える影響は大きいと考えている。

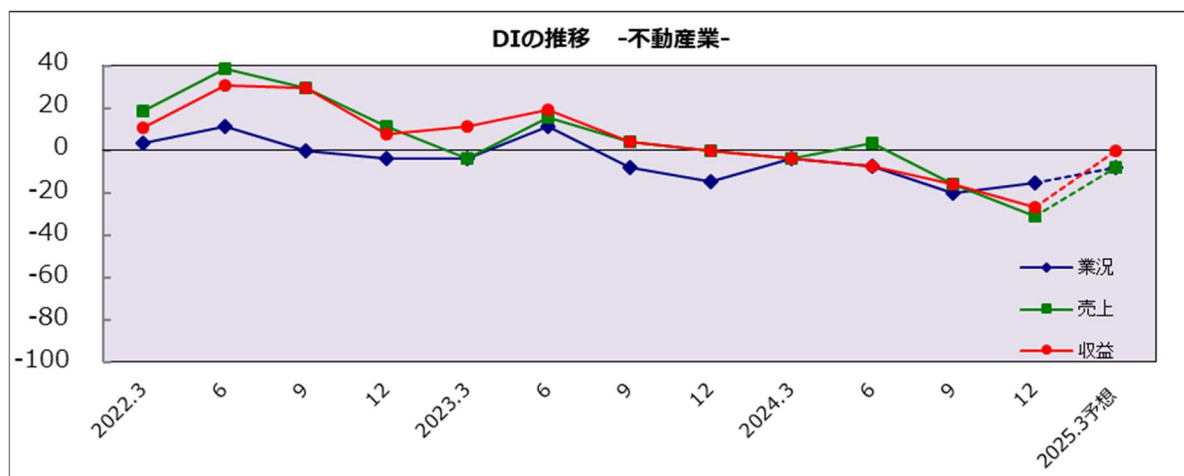
(建売・土地売買)

・商品物件の高騰、不足が続いており、情報力の強化が必要とのこと。

(建売・土地売買)

・現状は利益幅に大きな変化は無いが、利上げにより利益に影響はできると考える。利益を上げる為、駐車場の賃貸等も始めている。

(貸事務所・土地賃貸)



~MEMO~